

ごあいさつ



平素より大阪信用金庫をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

当金庫の経営内容をご理解いただくために、ディスクロージャー「DAISHIN DISCLOSURE 2023 ～だいしんの現況～」を作成いたしました。

経営方針や業績、地域貢献活動などを分かりやすくご案内していますので、どうぞご覧ください。

2022年度の大阪経済は、約3年に亘るコロナ禍に加え、世界情勢の混乱や急速に進んだ円安の影響から、原材料や仕入・エネルギー価格などあらゆる物価が高騰し、中小企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい情勢が続きました。

しかし、年度後半は波を打ちながらも感染拡大は徐々に終息に向かい、アフターコロナに向けて行動制限は緩和され、インバウンド需要も回復しつつあり、ようやく経済の動きにも薄明かりが見え始めています。

このような中、当金庫は、DXに向けた取り組みを一気に加速させ、昨年6月に事業主の課題解決のために「だいしんネットAKINAI」を開設し、補助金情報などコンテンツの充実にあります。10月にはインボイス制度対応へのご支援に向けて、信金中央金庫が運営する法人ポータルサイト「ケイエール」のご提供を開始し、「だいしんネットAKINAI」との連携によるDX時代の取引先支援ツールとして運用を始めました。

さらに、インキュベーション型シェアオフィスとして「夢やさかい」に続き、はなてん支店の2階に「夢はなて」を、新大阪支店近くには「YUME ARATA」を開設し、大阪の創業・第二創業者を支援する体制を充実させました。これからもお客さまに寄り添った伴走支援に積極的に取り組んでまいります。

また、当金庫が行動指針に掲げている「自主創造」の精神のもと、全営業店では地域特有の課題を発掘し、行政機関等のご協力を得て、さまざまな地域貢献活動に主体的に取り組む等、サステナブルな活動にチャレンジしています。

2025年に開催される「大阪・関西万博」では、大阪商工会議所と共同で「大阪パビリオン」へ出展することが決まり、大阪の町工場のオンリーワン技術を世界に発信したいと考えています。

2022年度の業績は、期末の預金残高が2兆6,397億円、貸出金残高が1兆5,810億円となり、業務純益は121億円、当期純利益は83億円となりました。

これもひとえにみなさまの長年にわたるご愛顧・ご支援の賜物と深く感謝しております。

先の見えない混沌とした時代にあっても、全役職員の英知を結集し、地元大阪の発展に向けより積極的に取り組んでまいります。

これからも地域金融機関として、みなさまにとって愛着のある信用金庫を目指し、その期待に応えてまいりますので、今後ともご支援、ご愛顧くださいますようお願い申し上げます。

2023年7月

理事長 高井 嘉津義